

専門実践教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況

(1) 資格取得状況

① 前年度の修了者数	93	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	94	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	93	人	受験率(③/②)	98.9	%
④ ③のうち合格者数	93	人	合格率(④/③)	96.8	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	84	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	5	人			

※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。

この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。

※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。

(2) 受講修了者による講座の評価等

① 回答者総数	28	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	5			
	2 非正社員、派遣社員	0	人		
	3 その他の就業(自営業等)	0	人		
	4 非就業	23	人	②B: 非就業者計	
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	3	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)	5
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	0	人		
	3 社内外の評価が高まる	1	人		
	4 円滑な転職に役立つ	1	人		
	5 趣味・教養に役立つ	0	人		
	6 その他の効果	0	人		
	7 特に効果はない	0	人		
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	3	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	23
	2 希望の職種・業界で就職できる	19	人		
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	0	人		
	4 趣味・教養に役立つ	1	人		
	5 その他の効果	0	人		
	6 特に効果はない	0	人		
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	20	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)	23
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	1	人		
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0	人		
	4 就職していない	2	人		
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	11	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)	28
	2 おおむね満足	13	人		
	3 どちらとも言えない	4	人		
	4 やや不満	0	人		
	5 大いに不満	0	人		

(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況)、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)

修了者からの評価で、「やや不満、大いに不満」の回答はなかった。就職を希望した修了者は、概ね就職ができたと思われる。

5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法

1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	修了者からの評価で、「やや不満、大いに不満」の回答はなかった。就職を希望した修了者は、概ね就職ができたと思われる。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	-

専門実践教育訓練明示書（様式例）

6. 受講効果の把握方法																															
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率60%以上で合格、補講・追試は認める。																														
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	ペーパーテスト、演習並びに課題提出																														
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率60%以上で合格、補講・追試は認める。																														
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たすこと																														
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																															
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	クラス担任制をとっており、随時質問を受け付け、希望に応じて個別対応を行っている。																														
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	<ul style="list-style-type: none"> ・学科に就職支援担当を配置し、随時質問を受け付け、希望に応じて個別対応を行っている。 ・キャリアガイダンスの実施。 																														
8. その他の事項																															
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人富山国際学園 (代表者名: 金岡 克己)																														
住所及び連絡先	富山県富山市願海寺水口444 TEL 076-436-5139																														
施設名称及び施設長名	富山短期大学 (施設長: 高木 利久)																														
住所及び連絡先	富山県富山市願海寺水口444 TEL 076-436-5146																														
苦情受付者	氏名 酒井 所属 教務入試課	事務担当者	氏名 山中 所属 教務入試課																												
連絡先	TEL 076-436-5176		連絡先 TEL 076-436-5176																												
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,540,000 円																												
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		200,000 円																												
① 一括払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)		<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">第1期</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">335,000</td> <td style="width: 10%; text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">第2期</td> <td style="text-align: right;">335,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">第3期</td> <td style="text-align: right;">335,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">第4期</td> <td style="text-align: right;">335,000</td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">第5期</td> <td style="text-align: right;"></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">第6期</td> <td style="text-align: right;"></td> <td style="text-align: right;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: right;">(うち、必須教材費</td> <td style="text-align: right;">円)</td> </tr> </table>		第1期	335,000	円		第2期	335,000	円		第3期	335,000	円		第4期	335,000	円		第5期		円		第6期		円		(うち、必須教材費		円)
	第1期	335,000	円																												
	第2期	335,000	円																												
	第3期	335,000	円																												
	第4期	335,000	円																												
	第5期		円																												
	第6期		円																												
	(うち、必須教材費		円)																												
② 分割払																															
③ 両方可能																															
2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		734,744 円																													
① 任意の教材費 (税込額)		85,344 円																													
② 実習等に伴う交通費・宿泊費 (税込額)		0 円																													
③ 施設維持費 (税込額)		600,000 円																													
④ その他 (法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)		49,400 円																													
3. 総額 (1+2) (税込額)		2,274,744 円																													

別表 保育士養成課程授業科目

告示による教科目				左記に対応する本学授業科目					
系列	教科目	授業形態	単位数	授業科目名	授業形態	開設年次	単位数		備考
							必修	選択	
教養科目	外国語、体育以外の科目	不問	6以上	日本国憲法	講義	2	2		
				国際情勢	講義	2		2	
				自然と人間	講義	2		2	
				国語表現	講義	1	2		
				コミュニケーションと情報	講義	1	2		
				現代社会と人間	講義	1		1	
				基礎演習	演習	1	1		
	外国語	演習	2以上	英語Ⅰ	演習	1	1		
				英語Ⅱ	演習	2	1		
				キャンパス&ホームステイプログラム	演習	1		2	
	体育	講義	1	運動と健康	講義	1	1		
実技		1	健康スポーツ	実技	1	1			
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	1	2		
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	1	2		
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	1	2		
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	1	2		
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2	2		
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	1	2		
	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2	2		
保育の対象の理解に関する科目	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	1	2		
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	1	2		
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	2	1		
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	1	2		
	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養Ⅰ	演習	1	1		
子どもの食と栄養Ⅱ				演習	1	1			
保育の内容・方法に関する科目	保育の計画と評価	講義	2	教育課程論	講義	1	2		
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	1	1		
	保育内容演習	演習	5	子どもと健康	演習	2	1		
				子どもと人間関係	演習	2	1		
				子どもと環境	演習	2	1		
				子どもと言葉	演習	1	1		
				子どもと音楽表現	演習	1	1		
	保育内容の理解と方法	演習	4	保育内容（健康）指導法	演習	2	1		
				保育内容（言葉）指導法	演習	2	1		
				保育内容（音楽表現）指導法	演習	2	1		
				保育内容（造形表現）指導法	演習	2	1		
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	1	2		
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1	1		
	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	1	1		
	障害児保育	演習	2	特別支援論Ⅰ	演習	1	1		
特別支援論Ⅱ				演習	2	1			
社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	2	1			
子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	2	1			

告示による教科目				左記に対応する本学授業科目				備考		
系列	教 科 目	授業形態	単位数	授 業 科 目 名	授業形態	開設年次	単位数			
							必修		選択	
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ-1	実習	1	2			
				保育実習Ⅰ-2	実習	1	2			
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ	演習	1	2			
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習	演習	2	2			
科目に質保 目関・育 する目的本	各指定保育士養成施設にお いて設定	15 単 位 以 上		子どもと社会	講義	2	1			
科目に象保 目関の育 する理の対				教育相談	演習	2		1		
保育の内容・方法に関する科目					総合演習	演習	2		2	
					音楽表現技術Ⅰ	演習	1	1		
					音楽表現技術Ⅱ	演習	1	1		
					造形表現技術Ⅰ	演習	1	1		
					造形表現技術Ⅱ	演習	1	1		
					子どもと造形表現	演習	1	1		
					子どもの運動	演習	1	1		
					教育方法論	講義	2		2	
					音楽表現特講	演習	2		1	
					子どもと遊び	演習	2	1		
					教育実習Ⅰ	実習	1		2	
保育実習	保育実習Ⅱ又は保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習	2	2	2科目の中から1科目(2単位)以上履修		
				保育実習Ⅲ	実習	2	2			
	保育実習指導Ⅱ又は保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習	2	1	2科目の中から1科目(1単位)以上履修		
				保育実習指導Ⅲ	演習	2	1			
				合 計			70	21		

教育訓練給付制度の適正な利用に必要な事項について

教育訓練給付制度を適正に利用していただくために、以下の点について十分にご理解いただくようお願いいたします。

(1) 専門実践教育訓練給付金の支給対象となる教育訓練経費とは、受講者が自らの名において直接専門実践教育訓練実施者に対して支払った教育訓練の受講に必要な入学料及び受講料に限られます。

(2) 受講料には、受講費のほか、受講に伴い必須となる教材費用等も含まれますが、検定試験受験料、補助教材費、補講費、交通費、パソコン等の器材費等は含まれません。また、クレジット会社に対する手数料、支給申請時点での未納の額（クレジット会社を介してクレジット契約が成立している場合を除きます。）も教育訓練経費に含まれるものではありません。

(3) 現金等（有価証券等を含みます。）や物品の還元的な給付その他の利益を受けた場合や、各種割引の適用を受けた場合には、その還元的な給付額や割引額等を差し引いた額が教育訓練給付金の対象となる教育訓練経費となります。

このため、このような還元的な給付等を受けた場合には、入学料及び受講料の額から当該還元額を控除した額で教育訓練給付金の支給を申請することが必要になります。

なお、当該教育訓練経費に係る領収書又はクレジット契約証明書の発行後、受講料の値引き等により教育訓練経費の一部の還付が行われた場合には、教育訓練給付金の支給申請に際しては、教育訓練実施者が受講者に発行する、還元額等が記載された「返還金明細書」の提出が必要となります。

(4) 専門実践教育訓練給付金は、当該教育訓練を実際に本人が受講し、修了した場合支給されるものです。このため本人以外の者が受講し、修了等した場合には、専門実践教育訓練給付金は支給されません。

また、当該教育訓練の定期的な試験又は修了試験に際して、あらかじめ解答が添付されている場合等にあっては、当該教育訓練を修了する見込みがあるもの又は修了したものとは認められていませんので、専門実践教育訓練給付金の支給を受けることはできません。